ＭＳＤＳ

作成日．改訂日　2011 年 6 月 14 日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名　　**プラスティーコート ＃ １０**

会社名　　株式会社　大　京　化　学
住所　　東京都大田区本羽田 2-9-20
担当部門　　業務部
連絡先　　TEL 03-3742-2178
　　FAX 03-3742-2179
推奨用途及び使用上の制限：金属面の防錆保護　・プラスチック面のキズ防止　・マスキング剤
整理番号　1050

2.危険・有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性　：	引火性液体	［ 区分２　］
健康に対する有害性　：	急性毒性(経口)	［ 区分５　］
	急性毒性(経皮)	［ 区分５　］
	皮膚腐食性・刺激性：	［　分類できない　］
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	［　区分 2A］
	呼吸器感作性	［　分類できない　］
	生殖毒性	［　区分２　］
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	
	［　区分１　］(中枢神経系・腎臓・全身毒性に障害)	
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	
	［　区分２　］(血管・　脾臓・肝臓に障害のおそれ)	
	吸引性呼吸器有害性	［　区分２　］
環境に対する有害性　：	水性環境急性有害性	［　分類できない　］
	水性環境慢性有害性	［　分類できない　］

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意換気語：　　**危　険**

危険有害性情報：

- 引火性の高い液体及び蒸気
- 皮膚に接触すると有害の恐れ(経皮)
- 重篤な眼への刺激
- 生殖能又は胎児への悪影響の恐れ
- 長期又は反復暴露による血管、肝臓、脾臓に障害のおそれ
- 飲み込むと有害の恐れ(経口)
- 飲み込み、気道に侵入すると有害の恐れ
- 呼吸器への障害の恐れ
- 中枢神経系の障害

注意書き：

【安全対策】

・　すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・　使用前に取扱説明書を入手すること。
・　この製品を使用する時に、飲食又は禁煙をしないこと。
・　熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。　　－禁煙。
・　個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
・　保護眼鏡、保護面、保護手袋を着用すし、必要に応じて防毒マスクや送気マスクを着用する。
・　屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・　ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
・　取扱い後はよく手を洗うこと。
・　環境への放出を避けること。

【救急処置】

●　火災の場合には、適切な消火方法をとること。
●　眼に入った場合は、直ちに医師の診断を受ける。
●　皮膚に付着した場合は直ちに石けんで洗い落す。
●　飲み込んだ場合は直に医師の診断、手当てを受ける。
●　吸入した場合には空気の新鮮な場所に移し、直ちに医師の診断を受ける。

【保管】

・　容器を密閉して涼しく換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

・廃液/容器は法に従い適正に処理する。
　国際、国、都道府県、市町村の規則等に従う。

3.　組成及び成分情報

　　単一製品・混合物の区別　：　混合物
　　化学名　：ポリウレタン樹脂溶液

化学式または構造式　：　特定出来ない

含　有　成　分	含有量%	ＰＲＴＲ法	化審法	ＣＡＳNO
ウレタン樹脂	20-30	―――	7-857	
ＩＰＡ	40-50	―――	2-207	67-63-0
イソブチルアルコール	10-20	―――	2-3049	78-83-1

4.【応急処置】

　　吸入した場合　：　蒸気、ガスを吸い込んで、気分が悪くなった時は直ちに空気の新鮮な
　　場所に移し，安静にして医師の手当てを受ける。
　　眼に入った場合：　清浄な水で最低１５分間眼を洗浄した後、医師の処置を受ける。
　　皮膚に付着した場合：　付着物を布にて素早く拭き取る。
　　多量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
　　外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医療処置を受ける。
　　この商品は引火性なので火気に注意して処置する。

ばく露又はその懸念がある場合：　医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合：　医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時：　医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：　無理に吐かせないで，直ぐに医師の診察を受ける。
予想される急性症状：　高濃度の蒸気は、目、鼻、のどの粘膜を刺激する。蒸気を吸引すると頭痛、めまい、吐気を起こす。また、中枢神経系に影響を与え麻酔作用がある。血流低下、心臓及び呼吸への影響を生じることがある。

5.【火災時の措置】
消化剤　：　粉末･耐アルコール泡･二酸化炭素・霧状水
使ってはならない消化剤：棒状水の使用は火災を拡大し危険である。
特定の消化方法
1. 消火作業の際には、可能な限り風上から行い必ず保護具を着用する。
2. 初期の火災には，粉末，炭酸ガス消化剤を用いる。
3. 周囲の設備等に散水して冷却する。この場合現場状況による。
4. 大規模火災の際には, 耐アルコール泡消化剤を用いて空気を遮断する事が有効である。
5. 火災発生場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行なう者の保護(保護具) ：呼吸用保護具(自給式呼吸器、防災面) 耐熱性着衣などを着用する。

6.【漏出時の措置】
人体に対する注意事項：風下の人を退避させ、漏出した場所から人を遠ざける。
作業の際は保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク、安全靴等)を着用し蒸気の吸入や皮膚への接触を防ぐ。
処置時は漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出されないように注意する。
除去方法　：少量の場合はウエス、土等で吸収、あるいは包み取り焼却する。大量の場合は盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収して焼却する。
7.【取扱い及び保管上の注意】
取扱い　取扱いは換気の良い場所で行なう。局所排気装置または全体排気装置を設けた場所で使用する。
技術的対策：　吸い込んだり、眼・皮膚及び衣服に触れない様に、適切な保護具(保護マスク・保護眼鏡・保護手袋・安全靴等）を着用する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
火気・衝撃火花・高温物等による着火源を生じない様にする。
静電気対策の為に、装置・機器などの接地を確実に行い、電気機器類は防爆構造(安全増防爆または耐圧防爆)のものを使用すること。
容器を転倒する、落下する、衝撃を加える等の乱暴な取扱いをしては、ならない。
保　管
保管場所：　柱、壁、床を耐火構造とし、はり、屋根を不燃材でつくる。
適切な保管条件：容器は直射日光を避け,冷暗所に密閉して保管する。

火気・熱源より遠ざけ,可燃物を近くに置かない。
長期間の保管を避ける。

8.【暴露防止措置及び保護措置】

管理濃度及び許容濃度

	Ｉ・Ｐ・Ａ	イソブタノール	
管理濃度 2009	200ｐｐｍ	50ｐｐｍ	
許容濃度（1）	400ｐｐｍ （980ｇ/m3）	50ｐｐｍ	
（2）	200ｐｐｍ STEL400ｐｐｍ	50ｐｐｍ	

(1)日本産業衛生学会による設定 2008 年

(2)ＡＣＣＩＨ（米国産業衛生監督官会議）　ＴＬＶ-ＴＷＡ　2009 年

設備対策：局所排気装置又は全体換気装置を設け発火源や高温源となるものが置かれない設備とする。又設備にはアースをとる。屋内作業には自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気の暴露を避けらる設備とすること。

タンク内部等の密閉場所で作業する時は密閉場所、特に底部まで十分換気できる装置を設けること。

保護具　：有機ガス用防毒マスク、濃度が高い場合は送気マスク,空気呼吸器、保護眼鏡又は防災マスク、耐油性の手袋、長靴、前掛け（静電気防止対策用）

衛生対策：　取扱い後はよく手を洗うこと。

9.【　物理／化学的性質】

外観　　：透明粘性液体(その他：青・緑・黄色)
溶解度（水）　：水に不溶
比重　　：0，840　（20℃）

【危険性情報】　（安全性、反応性）

製品及び使用溶剤の危険性情報

成分	製　品	ＩＰＡ	イソブタノール	
引　火　点	11℃	11℃	30℃	
発　火　点	―	459℃	415℃	
爆発限界　上限	―	12%	11%	
下限	―	2.0%	1.2%	

本製品使用箇所の証明、電気器具（スイッチ、モーター等）はスパークによる引火を防ぐ為、防爆構造のものを使用する。又、静電気の発生によるスパークにも注意する。

10.【安定性及び反応性】

安定性：　　通常の取扱い条件においては、安定。
　　蒸気は引火して爆発する恐れがある。

危険有害反応可能性：　強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。

避けるべき条件　　：　高温

混触危険物　　：　強酸化剤

危険有害な分解生成物：不完全燃焼させた時、一酸化炭素を生成する。

11.【有害性情報】

急性毒性　：含有成分のデータを以下に示す。

物質名	ＬＤ50(ラット経口)	ＬＣ50（ラット吸入）
Ｉ・Ｐ・Ａ	5280ｍｇ/ｋｇ	29512ｐｐｍ（4Ｈｒ）
イソブタノール	2460ｍｇ/ｋｇ	8000ｐｐｍ（4Ｈｒ）

物理的、化学的及び毒性学的に関係した症状

- ＩＰＡ・イソブタノールには以下の情報がある。

急性毒性

健康：蒸気はめまいや窒息を引き起こすおそれがある。

健康：吸入や皮膚からの吸収により中毒を起こすおそれがある。

皮膚腐食性・刺激性

健康：吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

がん原性

（ＩＰＡ）：IARC－Gr.3；ヒトに対する発がん性については分類できない。

（ＩＰＡ）：ＡＣＧＩＨ－A4；ヒト発がん性物質に分類されない物質。

12.【環境影響情報】

土壌中の移動度

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響をあたえる恐れがあるので、取扱には注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接ながれないように対処する。

生態毒性

水生環境有害性（急性）：魚類（ヒメダカ）の 96 時間ＬＣ50〉100ｍｇ/Ｌ，急性毒性が低いことから、区分外とされた。

水生環境有害性（慢性）：難水溶性でなく（水溶解度＝1.00×106ｍｇ/Ｌ）、急性毒性が低いことから、区分外とされた。

残留性・分解性　　分解性

ＢＯＤ5　　：　　0.16ｇO2／ｇＩＰＡ（7%）

ＢＯＤ20　　：　　1.68ｇ／ｇＩＰＡ（70%）

理論的酸素要求量：2.4ｇO2／ｇＩＰＡ

蓄積性　　：　なし

魚毒性　　ＬＣ50　fathead　minnow　　11130ｍｇ／L(96h)

13【廃棄上の注意】

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

内容物／容器を(国際/国/都道府県／市町村の規則に従って)に廃棄する。

廃棄物は許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14.【輸送上の注意】　取扱いおよび保管上の注意の項の記載による他、引火性のある有害液体に関する一般的な注意に従う。

その他消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

国連番号、国連分類

番号 1263

クラス：　3

包装等級：2

緊急時応急指針番号：128

15【主な適用法令】

消防法：第四類引火性液体　アルコール類（指定数量）400L

労働安全衛生法関連法令：施行令別表第 6 の 2　有機溶剤中毒予防規則（第二種有機溶剤使用）

ＭＳＤＳ通達物質・施行令第 18 条 名称等を表示すべき有害物

法 57 条の 2、施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

法 65 条の 2 作業環境評価基準

船舶安全法：　第 3 条危険物告示　別表第 1　引火性液体類

航空法　　：　施行規則第 194 条危険物　　引火性液体

化学物質管理促進法：PRTR　　非該当

16.【その他の情報】

参考文献

1. 国際化学物質安全カード　化学工業日報社
2. 有害化学物質　　丸善
3. 製品評価技術基盤機構　化学物質管理センター　ＨＰ
4. 日本産業衛生学会　環境許容濃度勧告
5. 各原料メーカー提供　ＭＳＤＳより

責任の限定について

記載事項は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。

また記載内容は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

以上は情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。